

116メール、きんごちゃん

隆は朝日中学校の一年生。ある日曜日朝、テレビの天気予報を見ていると、夕方から雨になると伝えていた。

「雨か：そういうえばこの間、お母さんが『傘持って行きなよ。午後から雨だって』って言うていたの無視したら、部活の帰りぬれちゃったなあ。」

そう思った隆は、庭先で洗濯物を干している母に伝えた。

「お母さん、午後から雨だって。」

「こんなに天気がいいのに……。でも最近の天気予報当たるから、早めに取り入れないとね。」その話を聞いた兄の守は

「雨なんて降るわけない。ちよっと行ってくるわ」

と傘も持たずに図書館へ行ってしまった。

二時を過ぎた頃から空の雲行きが怪しくなってきた。母は、

「本当に降りそう。急いで洗濯物しまわないと」

と慌ててしまいだした。本を読んでいた隆は、慌てる母を見ながら、何も持って行かなかった守のことを思った。そして四時過ぎには大粒の雨が降ってきた。そうこうしているうちにびしょぬれになった守が飛び込んできた。

「ちえっ、もう少し早く帰ってくればぬれずにすんだのに」

「守も隆の言っていたことを信じて傘持って行けばよかったのに……」と母。

「そうだよ兄ちゃん」

「うるせー」

そう言って守はくしゃみをしながら二階の部屋に上がっていった。

「それにしても天気予報は本当にすごいね。隆、ありがとう」

という母のお礼に、隆はちよっと照れくさかったけれど、なんとなくいい気持ちになった。

その日の夜、隆はコンピュータのメールをチェックした中に次のものを見つけた。

差出人: 090123456@docomo.ne.jp
宛 先:
件 名: Rh-B 型の血液の方お願いします

はじめまして、田中と言います。私の友だちの幸子さんが、悪性リンパ腫(しゅ)という病気で手術をしなければなりません。血液型が Rh-(マイナス)B 型で、2 万人に 1 人という確率の血液でなかなか知人にはいません。なのでこのメールをできるだけたくさんの人にまわしてください。Rh-B 型の人は教えてください(090456789@ezweb.ne.jp)。知っている人もお願いします。友だちを救ってください。お願いします。

「大変なんだなあ。知っている人にもこんな血液型なんて……。でもあいつらなら知っているかも……。」

そう思った隆はメールを友だちに転送しようとしたが、

「なぜこの田中という人、僕のメールアドレスレス知っているんだろ。」

と不思議に思った。

転送するべきか、隆は悩みはじめてしまった。

